

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部基盤技術支援センター	■担当係	基盤技術支援センター
■評価事業名称	テクノコーディネーター(非常勤職員)設置事業		
■評価事業コード	060500 - 011	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり	
	■基本施策	02 活気ある商工業と観光の振興	
	■施策	01 技術力・経営力強化への支援	
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称	北上市工業振興計画		
■事業の目的と概要	センター設置機器の利用促進のため、機器の使用に係る技術指導及び研修等を実施することを目的とする。センター設置機器の使用に係る技術指導及び研修会の開催等		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	テクノコーディネーター(非常勤職員)設置事業	地域製造業者		測定機利用: 805回、2,581時間 機器使用講習会: 28回、延べ22社98人受講

3. 投入コスト情報

(単位: 千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	5,516	5,264	5,312	5,326	
人件費	576	736	1,217	1,338	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	6,092	6,000	6,529	6,664	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	測定機器利用回数	1096	1142	1052	805	業績の変動で特定機器の利用回数が激減
02	測定機器講習会開催回数	57	15	8	28	23年度は震災の影響で大幅に落ち込み

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

業績の影響を受けるため、利用回数に変動が出る。測定機器自体の老朽化が進んでいるため、順次更新している。また、コーディネーターの知識を頼り、企業の研修としても使用頂いている。

問題点・課題等

比較的固定客がついているため、利用率が景況に左右される。県外企業がHPで検索し利用いただく例もあるので、更新とともに情報発信を進める必要あり。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明